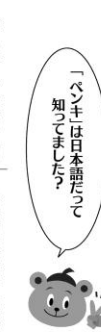


History of life 住まいの歴史

塗料について考える。

塗料の歴史はエジプトから始まった。歴史上、最も古い塗料が見られるのは紀元前のエジプトで天然樹脂と植物油からワニスが作られ、ミイラの木棺に塗られていました。東洋では、秦の始皇帝の寝台に使われていた朱色の漆が最古の塗料のようです。

「パンキは日本語だぞ 知っていましたか？」



れていきましたが、明治時代に入ると建築様式の変化とともに本格的な洋式塗料による塗装が盛んになりはじめ、1881年(明治14年)に初の国産塗料が作られました。大正時代の戦争を契機に、本格的な塗料の研究が行われました。しかし、第2次世界大戦では海外からの原料調達ができず、開発は戦後までストップしてしまいました。

戦後、1948年(昭和23年)の亜麻仁(あまに)油の輸入をきっかけにさまざまな樹脂が研究さ



れ、石油化学工業の発達と足並みを揃えるように塗料は進歩してきます。そして今日では、グローバルな環境・健康・利便性を考慮して水性系塗料を中心とした研究に力が注がれています。

●水性系塗料 塗りやすいように水で薄めることができ、塗料です。臭いがあまり少ないことから、現在では主流になっています。研究開発が進み、利用範囲も年々広がっています。

●油性系塗料 一般的に使われている塗料で、塗りやすくなるために専用シンナーを使います。主に木の部分や鉄部に塗りますが、古くなる色が難点です。

●自然塗料 最近、特に脚光を浴びている「自然環境にやさしい塗料」です。長所としては、塗りやすく、補修が簡単。また臭いが少なく、人体への害がほとんどない点が挙げられます。欠点としては、成分の対応年数が非常に短いために塗り替え期間が短いこと。

Vol.20 新 フィンテック newspaper '11 October 新聞 発行所 FINTEC新聞 編集部 福岡市東区多の津5-20-1

すまい(宅)スマイル 11年10月号

以外と知らな い塗料のいろいろ。 ●弱溶剤系塗料 溶剤系塗料に利用されている樹脂をベースに、低臭で作業性を高めた塗料です。最近の建築塗装の主流として水性系同様によく利用され、防カビ・防汚染に効果大。

「測量って何を測るの？」 「測量」とはザックリ言うと山や川、家道路などのお互い、位置関係を正確に測ることです。でも、実際の「測量」の工程はなかなか複雑で、対象地域の資料調査(法務局、市町村役場等)から始まり、現地の測量、測量した結果と事前資料との調整計算、調整結果の現地への表示、関係対象との協議、図面の作成等、かなり広範な作業プロセスです。

トコロヨーロッパ 変われば

「テレビ・ラジオの音から掃除機、洗濯機などの家電品から出る機械音まで、一般にいう生活音に対してヨーロッパは大きく変わりました。土日に

不特定の人々が暮らしているマンションやアパートでは、静かにするということがマナーとしてきちんち厳守されています。たとえば、土日

や夜に掃除機をかけてたら即警察に通報されるという話も耳にします。子供が騒ぐなんて、大人の隣人がOKのこのろは多いのに、小さな子供連れを禁止しているところが少なからずあるようです。日本人の感覚からするとまさに驚きですね。子供というのは元来うるさいものだからマンションでも

少々音を立てることは容認しないと、論議を堂々と胸を張って述べているのは世界でも日本くらいなところも知れませんが、

道「駅」うきはは 九州の道の駅 コンシェルジュ CONCIERGE 福岡県 うきはは テックが目録連山ビューを 楽しめたい

毎朝届けられる採れたての品々は、まさに早いもの勝ちの人氣ぶり。収穫期には、特産品の桃や巨峰、梨、柿の通信販売もモテています。 レストラン「からうす」では、郷土料理や手打ちうどん等が美味しくていただけます。また広いウッドデッキに立つと耳納連山や筑後平野が一望でき、天気の良い日には、お弁当を広げている家族も数多く見受けられます。物産館やレストランの他にも美術館や博物館もあるの

で、ご家族で食欲の秋や芸術の秋を心ゆくまで楽しむことができます。近くには民陶一の瀬、筑後川温泉など的人气スポットもあり、道の駅「うきは」は、道それぞれいろいろな楽しみ方ができるこの秋絶好のドライブスポットです。



編集後記 本誌が発行される頃には、フィンテックに新しい打ち合わせ室が竣工していることと想います。今以上にイメージをわかりやすく提案できるための秘密兵器を準備して、皆様のお越しをお待ちしております。

九州の道の駅 コンシェルジュ CONCIERGE 福岡県 うきはは テックが目録連山ビューを 楽しめたい

測量って何を測るの? 測量とはザックリ言うと山や川、家道路などのお互い、位置関係を正確に測ることです。

九州・山口の 姉妹都市・友好都市 北九州市とノーフォーク市 (アメリカ) ノーフォーク市は、アメリカ合衆国の東海岸、バージニア州にあり、チェサピーク湾の湾口という立地条件に加え、ハンプトン・ローズという天然の良港に恵まれていることから、港湾都市として発展してきた歴史を持っています。1959年(昭和34年)に日門司市と姉妹都市提携を結び、その後北九州市が引き継ぎました。門司区の和布刈(めかり)公園内にあるノーフォーク広場は姉妹都市締結にちなんで1986年(昭和61年)に整備された公園で、関門海峡を行き交う船や最大9ノット(時速約16・7km)の速さで流れる潮流を見ることできます。 姉妹大学の締結、青少年交流など幅広い交流を行っています。